

平成 29 年度 青少年健全育成茨城県推進大会

日 時 平成 30 年 2 月 7 日 (水) 午後 1 時 ~ 午後 3 時 40 分

場 所 茨城県立県民文化センター 大ホール
水戸市千波町東久保 697



プログラム

【開 会】

13 : 00

◇開会のことば

◇主催者あいさつ

茨城県知事
公益社団法人茨城県青少年育成協会 会長

大井川和彦
石津 博康

◇来 賓 祝 辞

茨城県議会議長

菊池 敏行

◇来 賓 紹 介

◇活動助成金贈呈

ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

◇中学生の主張発表

どこにもない『普通』 高 崎 友 萌 筑西市立下館南中学校 3年
水が教えてくれたこと 鴨志田なつみ 那珂市立第一中学校 3年

◇実践活動発表

女性・若者企画提案チャレンジ支援事業
茨城県立竜ヶ崎第二高等学校（龍ヶ崎市）

◇講 演

演 題

「環境から考える子どもの遊びと育ち」
～遊びの場づくりから、子どもが自分の人生を手作りする地域環境を育む～

講 師

一般社団法人 TOKYO PLAY 代表理事 嶋村 仁志 氏

◇閉会のことば

【閉 会】

15 : 40

どこにもない『普通』

筑西市立下館南中学校 3年

たか さき と もえ
高 崎 友 萌

「英雄。何でここに居んでえ？」
高校の入学式。兄の友人が、最初に発した言葉です。
その頃、母も、ママ友から、
「高崎さん。何でここに居るの。」
と、声をかけられていました。悪気はないのです。それ程、兄の工業高校進学は、衝撃的なことだったので

す。
兄は、自分の名前を読むこともできないまま、小学生になりました。そして、勉強は、友人より常に二歩も三歩も遅れていました。
「ビリでもいいのよ。ビリから二番目の背中さえ見えていれば、いつかきっと追いつけるから。」
それが、母の口ぐせでした。

こんなエピソードがあります。それは、兄が繰り上がりの足し算を習った日のことです。兄は、怒りをむき出しにして帰宅しました。
「先生は、おかしいんだよ。僕の指は、全部で十本しかないんだよ。だけど、頑張って十より大きい足し算をしたんだよ。それなのに、先生は、十の位の一つで書けって言うんだよ。絶対に変だよな。」

ふてくされた兄の目から、今にも涙がこぼれそうです。そのとき、母はどうしたと思いますか。「そんなこともわからないの。」と言って叱った？いいえ。母は、どのように説明すれば兄が理解できるかを、とてもよくわかっていました。そこで、母は、画用紙に大きく筆算の式を書いたのです。そして、十円玉と一円玉を式と同じ数だけ置き、兄に数えさせました。更に、一円玉十枚と十円玉を両替し、「十の位はね、十円玉の数を書く所なんだよ。」と言いました。一円玉十枚が十円玉1枚になる。それは、兄にとって、とても納得できる説明でした。

私は、このエピソードを知ったとき、伝えることの難しさと大切さについて考えさせられました。

小学生のとき、私には、発達障害の友達がありました。見た目は普通の子と同じなのに、うまく会話が続きません。ブランコが大好きで、ずっと乗っていて交替しないので、けんかになることもあります。教室移動の

とき、準備が間に合わず遅れてしまうこともありました。そんな彼女に、どうしたら言いたいことが伝わるのか、試行錯誤の上わかったこと。それは、まず初めに、『貴女に話すよ。』という意思表示をすると良いということでした。

「〇〇ちゃん。」と名前を呼んだり、軽く肩をたたいたりして目と目が合うようにします。それから、少しゆっくり話してあげると、伝わることが多いのです。主語をはっきりさせたり、一文一文を短くする工夫もしました。

今、彼女は特別支援学校へ行っているのほとんど会うことはありません。でも、偶然町で会ったとき、とびっきりの笑顔向けられると、『この子と友達になれて良かったな。』と、心から思います。

兄は、発達障害者ではありません。しかし、勉強は苦手でした。母が兄の良き理解者だったからこそ、皆に『奇跡』と言われるような力を発揮し、現在、工業高校で学んだことを活かして充実した日々を過ごしています。

発達障害の人の中には、勉強の成績が優秀なために子どもの頃に気付かず、大人になってから発達障害とわかる人もいます。勉強が苦手な兄は普通で、成績優秀な人が障害者？普通って、いったい何なのでしょう。

普通なんて、本当は、どこにもないのかもしれませんが。障害がない人にも、苦手なことがあります。もちろん、得意なこともあります。人と人が関わる中で、良い所を引き出し、苦手なことを補い合えたら、いろいろなことがうまくいくのではないのでしょうか。

相手を理解しようとするほんのわずかの思いやり。自分を表現しよう、考えを伝えようとする小さな努力の積み重ね。それさえあれば、一人ひとり、皆が個性を活かし輝けるはず。そして、それは、幸せな社会を作る大きなヒントだと私は信じています。

水が教えてくれたこと

那珂市立第一中学校 3年

かもしだ

鴨志田 なつみ

「水」と聞くと、私たちは何を思い浮かべるでしょう。飲み水、洗濯水、水洗トイレ、お風呂など、どれをとっても毎日の生活に欠かすことの出来ない物ばかりです。先進国と呼ばれる日本に暮らす私たちにとって、蛇口をひねれば、きれいな水がいくらでも出るということは当たり前のことになっています。しかし、発展途上国と呼ばれる国に住んでいる人たちにとっては、このような状況は、夢のようなことなのです。

私は、中学生になってから発展途上国の存在を知りました。教科書や資料集に載っている現地の写真や、先生の話してくれた説明などで、そこには私の知らない、過酷な生活があることを知りました。ある国では、子どもが家族を支えるために労働力となり、また別の国では、幼い子どもがわずかな稼ぎのためにゴミの山を一日中歩き回る。そして彼らの半数以上が大人になる前に死んでしまうという現実を知ったとき、私は驚きで頭の中が真っ白になり、同時に胸が苦しくなりました。

さらに調べてみると、私は気になる記述を見つけました。「生活用の水を汲むために、毎日往復三～四時間かけて子どもたちが水場と家を行き来しています。」

本当にそんな子どもがいるのかと私は言葉を失いました。私たちが当たり前のように学校に行き、勉強している間、あれがいやだ、これがいやだとわがままを言っている間、学校に行くことも出来ず、勉強をすることも出来ずに家族のために何時間もかけて水を汲みに行っている幼い子どもが、発展途上国には数え切れないほどいるのです。蛇口を少しひねれば、使いたいたけきれいな水が出る、そんな当たり前のことが叶わない国があるのです。

私もこれまでの生活の中で、一度だけ水に困ったことがありました。それは六年前の東日本大震災です。私の住む地域では、震災当日の三月十一日から二十六日までの十五日間、断水になり、自由に水の使えない生活を送りました。当時、小学二年生だった私は、断水の知らせを聞いたとき、小さいながらも事の深刻さを考えました。そして、姉と二人で協力して、隣の家

列に並んだり、自分たちにもできることを行いました。飲み水は十分に確保できたものの、洗濯ができない、トイレを流す水がない、お風呂にも入れない、そんな不自由な生活を送り、いろいろな場面で我慢をしなければなりません。そして、水道が復旧した三月二十七日、蛇口をひねったら水が出た瞬間の喜びと感動を今でも覚えています。

私たち日本人は、一人あたり一日平均二五〇リットルの水を使っているそうです。四人家族なら千リットル、五〇〇ミリリットルのペットボトルなら二千本分にもなります。六年前の断水を思い出すこともなく、蛇口をひねればいくらでも水が出る状況が当たり前と考えて生活しています。

たった十五日間、水が使えないだけで、私はたくさんの不自由と我慢を強いられました。しかし、発展途上国に生きる子どもたちは、それが毎日続いているのです。そのことによって、彼らはどれだけの自由を奪われているのだろう。どれだけ我慢をしているのだろう。そして、私たちはどれだけ恵まれているのだろう。

そんなことを考えて生活していた私の中に、少しずつ変化が起こってきました。

「石けんで手を洗っているときは、水を止める」「雑巾はバケツに汲んだ水で洗う」「友達の話をよく聞く」「部活や勉強で辛いときに、あきらめずに取り組む」どれも小さなことであり、当たり前のことです。しかし、私は以前より大切に水を使うようになり、そして、相手の立場で考えたり、少しだけ我慢をするようになりました。

私は、水から世界を考えることで、今まで見えなかったことがたくさん見えてきました。そして、今の自分がどんなに恵まれた環境に生かされているのかも知ることができました。

発展途上国の子どもたちのために何ができるのか、今の私には分かりません。しかし、今のこの状況を理解し、感謝をもって生活していく中で、きっと私にもできること、私にしかできないことが見つかると思います。そう信じて、これからも大切な水と共に暮らしていきたいと思います。

● 実践活動発表

女性・若者企画提案チャレンジ支援事業

高校生から発信、フューチャーセンターでつながるWA！ ～高校生による未来志向の場づくり～

りゅうがさきフューチャーセンター（県立竜ヶ崎第二高等学校）

発表者 代表 大関菜々子 ・ 新居 真優 ・ 郡司美月姫
植田 桃加 ・ 田中 美咲 ・ 美馬菜々子
齋田 一華 ・ 木澤 春喜 ・ 沼崎 滯
福王寺美嶺 ・ 丸岡みなみ ・ 豊田 悠稀

1 ねらい

文部科学省は現行の学習指導要領の中で、「自己を確立しつつ、他者を受容し、多様な価値観を持つ人々と共に思考し、協力・協働しながら課題を解決し、新たな価値を生み出しながら社会に貢献することができる個人」として、積極的な「開かれた個」の育成が必要と述べている。本校においては、自分自身の考えや意見を持っているが、それを他者に伝えることに対し消極的な生徒が多い。また、生徒自身と関係性のある者に対しては積極的に自己表現できるが、異なる立場や年齢の者に対しては、自己表現できずにいるというコミュニケーション上の課題がある。そこで、「りゅうがさきフューチャーセンター」という活動を通して、立場や年齢の異なる他者と生徒が交流することで、生徒の「開かれた個」としての能力を育むとともに、生徒を主体とした地域社会とつながる場づくりを本校から発信したいと考えた。

2 活動の概要

フューチャーセンターは世代や職種が異なる様々な分野のステークホルダー（利害関係者）が集まり、平等な立場で、未来志向で語り合う場である。その企画・運営を高校生が主体となって行うことで、本校生は学校という枠を超えた様々な参加者とのつながりを得ることができる。また、参加者にとっては、高校生の斬新なアイデアで、参加者同士を柔軟につなぐ効果が期待でき、新たなつながりの輪から思いもかけないアクションの実現が期待できる。今期は初年度ということで、「場」づくりのシステム構築と活動PRによる外部への周知を主活動とした。

平成 29 年 6 月 17 日 プレ開催（本校・参加者 40 名）

静岡県立島田商業高校の島田フューチャーセンターのメンバーと静岡県立大学生の進行でプレ開催という形で実施

7 月 22 日 ファシリテーション講習会（東京都渋谷区）

島田フューチャーセンターメンバーを講師に迎え、本校フューチャーセンターメンバーの生徒に向けて、ファシリテーションの仕方についての講習会を実施

8 月 24 日～ 26 日 静岡県島田市開催「全国高校生サミット in しまだ」にフューチャーセンター代表者 4 名が参加

- 10月7日 第1回フューチャーセンター（本校・参加者41名）
本校生の企画・進行によるフューチャーセンターを開催
セッションの中から龍ヶ崎コロツケ運動会開催の企画案登場
- 11月21日 全国の児童生徒によるプレゼン大会出場（つくば市）
つくば市 ICT 教育研究大会中の企画で実施された上記大会に
出場し活動のPRを行った。
- 12月4日 龍ヶ崎商工会主催地域経済活性化事業（龍ヶ崎市）
「龍ヶ崎市コロツケブランド化推進事業」セミナーに参加
商工会青年部役員、市役所職員、商店街店主とともにコロツケの
アイデア出し、第1回のセッションで登場したコロツケ
運動会の提案を行った。
- 12月9日 第2回フューチャーセンター（本校・参加者43名）
- 平成30年1月24日 茨城大学社会連携センター大学生との交流会に参加
- 3月 第3回フューチャーセンター開催予定

3 効果及び評価

りゅうがさきフューチャーセンターの活動を通して、人前で自分の意見を発言することをためらっていた生徒たちが、臆せずに自分の意見を発信できるようになる様子が見られた。消極的な生徒たちは、自己表現できる場を自ら主体的に見つけ、未来志向で挑戦していく人物に変化していった。また、フューチャーセンターに参加いただいた大人の方々も、高校生の変化に圧倒されながら、未来の展開を見だし、所属する組織でのアクションの種を持ち帰っていった。

りゅうがさきフューチャーセンターという場で、高校生という接着剤でつながった輪は、今も広がり続けている。

4 今後の活動や課題

フューチャーセンターを今後も定期的で開催し、活動の定着と周知に努めるとともに、次世代への継続を着実に行っていきたい。また、活動範囲を校内だけでなく、外部にも広げ、周辺地域とのつながりの輪を広げながら、新たなアクションを起こしていきたい。



問い合わせ先

りゅうがさきフューチャーセンター事務局
(県立竜ヶ崎第二高等学校)

〒301-0834 茨城県龍ヶ崎市 3087 番
TEL : 0297-62-3078 FAX : 0297-62-9850



「環境から考える 子どもの遊びと育ち」

～遊びの場づくりから、子どもが自分の人生
を手作りする地域環境を育む～

一般社団法人 TOKYO PLAY 代表理事

しまむらひとし
嶋村仁志

プロフィール

1968年、東京都生まれ。

子ども時代は、野球と自転車と缶けり三昧の日々。英国リーズ・メトロポリタン大学
社会健康学部プレイワーク学科高等教育課程（DipHE in Playwork）修了。

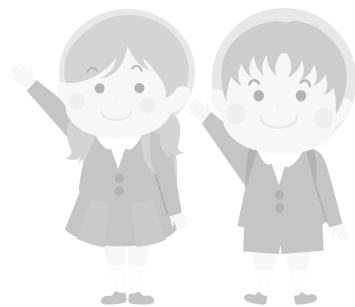
1996年に羽根木プレーパークの常駐プレーリーダー職に就いて以来、プレイワーカー
として川崎市子ども夢パーク、プレーパークむさしののスタッフを歴任した。NPO法人
日本冒険遊び場づくり協会理事。

2005～11年に国際NGOのIPA・International Play Association promoting child's
right to play（子どもの遊ぶ権利のための国際協会）東アジア地域副代表を務めた。

共著に『子どもの放課後に関わる人のQ&A』学文社、翻訳書に『プレイワーク子ども
の遊びに関わる大人の自己評価』学文社、『グラウンド・フォー・プレイイギリス冒
険遊び場事始め』鹿島出版会がある。監修書にコミックエッセイ『男の子の乗り越える
力を育てるワンパク体験』メディアファクトリーがある。

【 メ モ 】

平成 29 年度
青少年健全育成茨城県推進大会



● 開催要項

平成 29 年度 青少年健全育成茨城県推進大会 開催要項

1 趣 旨

本格的な人口減少、超高齢化社会を迎える中、将来の日本や茨城を担う青少年が心豊かに成長し、社会の一員として困難な状況を主体的に切り拓いていくのに十分な資質と能力を持った人間として自己形成していくことは県民の願いであります。また、その環境構築・育成支援は、大人の責務です。

しかしながら、青少年や若者を取り巻く環境は、児童虐待、いじめ、少年による重大事件、ニートやひきこもりなど若者の自立を巡る問題の深刻化、さらにスマートフォンの普及等によりインターネットを介しての事件やトラブルの増加など、様々な問題が生じています。

これらの様々な問題に対応するため、地域の各関係機関・団体が相互に連携・協力し、ネットワークを組んで支援するための施策を進めていくことが喫緊の課題です。

かかる現状にかんがみ、青少年育成関係者が一堂に会し、青少年や若者に対する理解と関心を深め、相互に果たすべく役割と責務を再確認し、本県における青少年健全育成活動のさらなる発展を図るため、推進大会を開催します。

2 主 催 茨城県 公益社団法人茨城県青少年育成協会 青少年育成市町村民会議

3 後 援 茨城県教育委員会 茨城県警察 茨城県市長会 茨城県町村会 茨城県幼稚園・認定こども園連合会 (一社)茨城県私立幼稚園・認定こども園連合会 茨城県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 茨城県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会 茨城県保育協議会 茨城県PTA連絡協議会 茨城県高等学校PTA連合会 茨城県学校長会 茨城県高等学校長協会 茨城県私学協会 (社福)茨城県社会福祉協議会 茨城県青少年相談員連絡協議会 茨城県青年団体連盟 茨城県女性団体連盟 大好きいばらき県民会議 (一社)茨城県子ども会育成連合会 茨城県スポーツ少年団 日本ボーイスカウト茨城県連盟 (一社)ガールスカウト茨城県連盟 茨城県保護司会連合会 茨城県薬物乱用防止指導員協議会 茨城県更生保護女性連盟

4 協 賛 ライオンズクラブ国際協会333-E地区

5 日 時 平成30年2月7日(水) 午後1時00分～午後3時40分

6 会 場 茨城県立県民文化センター大ホール
水戸市千波町東久保697 TEL 029-241-1166

7 参加者 青少年育成市町村民会議関係者 青少年育成指導者・関係者 PTA・学校(幼稚園、保育所を含む)関係者
青少年育成地域活動団体・グループ 子どもの育ちに関心のある県民の方 県・市町村行政関係者等
約1,500人

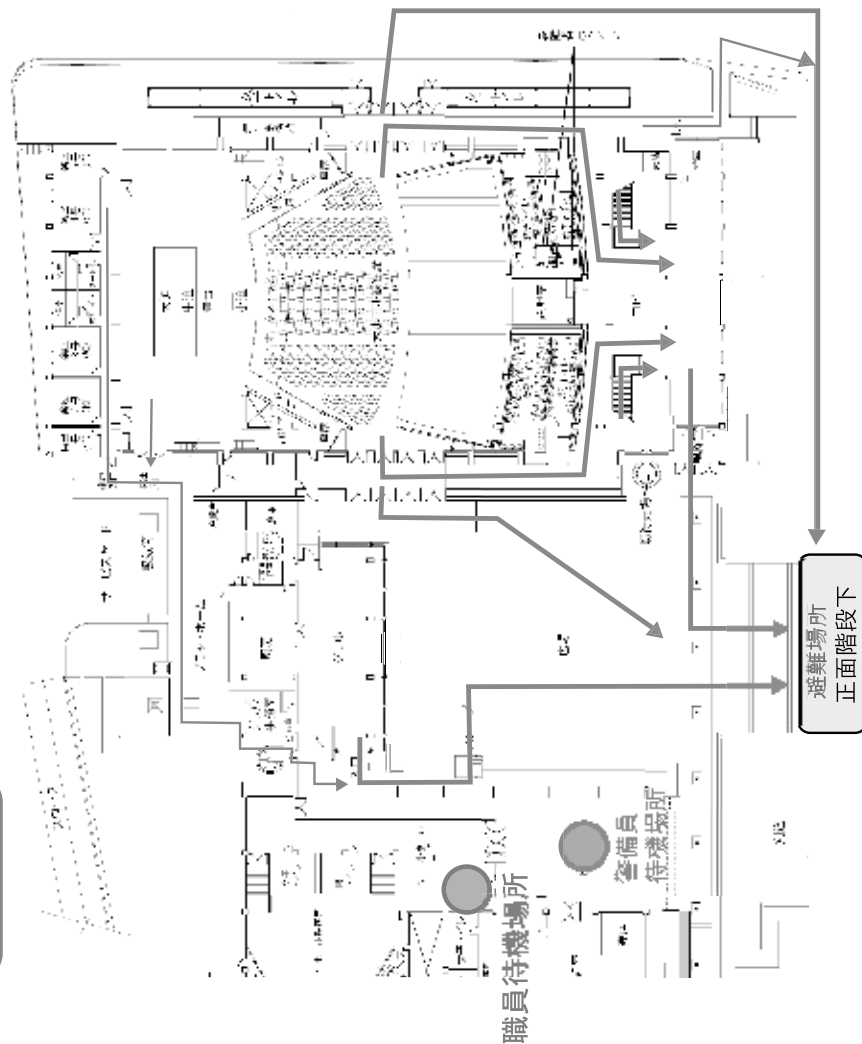
- 8 内容 ○ 中学生の主張発表 少年の主張茨城県大会発表者
 ○ 実践活動発表 茨城県立竜ヶ崎第二高等学校
 ○ 講演 講師
 一般社団法人TOKYO PLAY 代表理事 嶋村 仁志 氏
- 9 参加費 無料
- 10 参加申込先 (1) 青少年育成市町村民会議構成団体、小・中学校PTA、幼稚園、保育所関係者及び市町村行政関係者は、青少年育成市町村民会議事務局又は市町村青少年行政担当課にお申込み下さい。
 (市町村民会議または市町村青少年行政担当課は、各参加者を取りまとめるうえ、公益社団法人茨城県青少年育成協会事務局あて提出願います。)
 (2) 上記以外の団体関係者及び青少年育成地域活動団体・グループ、一般県民の参加者は、公益社団法人茨城県青少年育成協会事務局に直接お申込み下さい。
 (公益社団法人茨城県青少年育成協会の構成団体は、各団体で取りまとめるうえ提出願います。)
- 11 申込み締切り 平成30年1月26日(金)(但し、定員になり次第締切らせていただきます。)
- 12 問い合わせ先 公益社団法人 茨城県青少年育成協会 事務局
 〒310-0034 水戸市緑町1-1-18 茨城県立青少年会館内
 TEL 029-227-2747 FAX 029-228-6200
 E-mail : sha@ibaraki-ikusei.jp
- 13 その他 (1) 駐車場について
 ① 県民文化センターには十分な駐車スペースがありませんので、乗り合わせ、または公共交通機関をご利用願います。
 ② 中型ワゴン車、大型バス等で来場する市町村・団体については、会場内の座席をまとめて指定する予定です。特に市町村については、できるだけ関係者を取りまとめ、ワゴン車・バス等の公用車で送迎いただけますようお願いいたします。
 なお、自家用車でご来場いただく場合は一般自由席となりますので、ご了承ください。
- (2) 交通の案内
 ○ JR利用の場合 JR水戸駅南口から徒歩約15分
 ○ バス利用の場合 JR水戸駅北口8番バス停前で本郷・畑中・払沢行き(茨城交通・関東鉄道)に乗車 文化センター入口で下車
- (3) 会場内の飲食について
 ○ 会場の客席では飲食禁止です。
 ○ 昼食等については、各自でご準備願います。
 ○ 係員の昼食については、主催者側で準備いたします。

大ホール避難経路のご案内

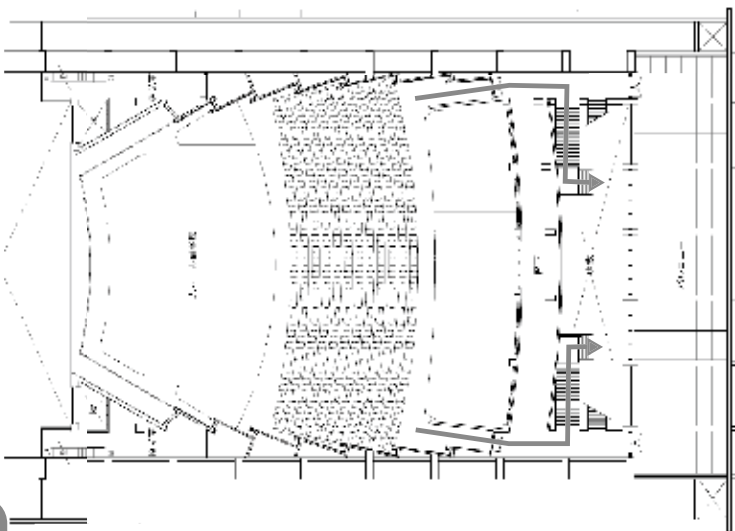
催し物の途中で地震、火災等の非常事態の発生に備え次のことに注意して下さい。

1. 非常事態の対策
地震、火災等の非常事態に備え、非常口の位置と扉の開け方及び避難方法等について事前にご確認下さい。
2. 避難誘導などについて
災害時、非常時の避難誘導経路については下記の通りの通りの経路ですので、事前に避難経路について確認して下さい。

1階



2階



スマートフォンの利用について、家族みんなで考えましょう！

茨城県フィルタリング
2月・3月 **普及啓発推進月間**



考えよう
家族みんなで
スマホのルール
私たちは子供たちの情報モラル育成に取り組みます
茨城県

スマートフォンやゲーム機など、インターネットを利用できる機器が増えていますが、お子さんがどのような使い方をしているかご存じですか。

インターネット上の有害情報から子供たちを守る「フィルタリング」を活用し、子供たちが安全・安心に利用できるようにしましょう。

賛助会員を募集しています

公益社団法人茨城県青少年育成協会では、青少年の健全な育成を願い、県民の皆様のご協力をいただき、県民総ぐるみの青少年育成県民運動を展開しています。

子どもたちの健やかな成長のために、当協会の賛助会員となって県民運動をご支援ください。団体、法人、個人の方のお申し込みを随時受け付けています。

賛助会費	団体・法人（企業等）	1口（年額）	10,000円
	個人	1口（年額）	3,000円
特別賛助会費	個人	1口	1,000円

お申し込み・ご連絡先

公益社団法人茨城県青少年育成協会

〒310-0034 水戸市緑町 1-1-18 県立青少年会館 3 階

電話 029-227-2747 FAX 029-228-6200

E-Mail sha@ibaraki-ikusei.jp URL <http://www.ibaraki-ikusei.jp/>

（入会申込書はホームページからダウンロードできます。）

平成 29 年度 青少年健全育成茨城県推進大会

主催 茨城県 公益社団法人茨城県青少年育成協会 青少年育成市町村民会議

後援 茨城県教育委員会 茨城県警察 茨城県市長会 茨城県町村会 茨城県幼稚園・認定こども園連合会 (一社)茨城県私立幼稚園・認定こども園連合会 茨城県国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 茨城県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会 茨城県保育協議会 茨城県PTA連絡協議会 茨城県高等学校PTA連合会 茨城県学校長会 茨城県高等学校長協会 茨城県私学協会 (社福)茨城県社会福祉協議会 茨城県青少年相談員連絡協議会 茨城県青年団体連盟 茨城県女性団体連盟 大好きいばらき県民会議 (一社)茨城県子ども会育成連合会 茨城県スポーツ少年団 日本ボーイスカウト茨城県連盟 (一社)ガールスカウト茨城県連盟 茨城県保護司会連合会 茨城県薬物乱用防止指導員協議会 茨城県更生保護女性連盟

協賛 ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区

本大会は、茨城県に対するイオンリテール株式会社からの寄附金の一部を活用して実施しています。